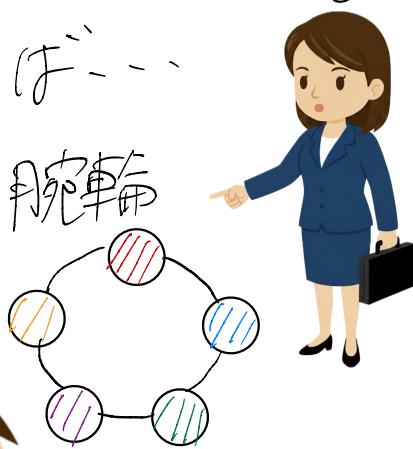


4 (1) 12通り (2) 504通り

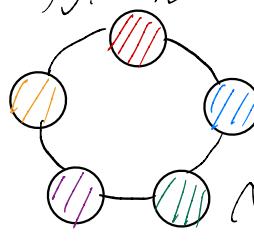
(1) 月輪腕輪は数珠(じゅず)順列

数珠順列とは円順列において裏返して同じになるものを区別しないこと。

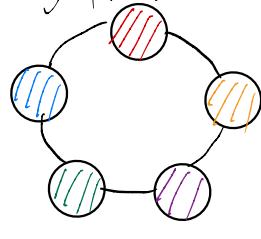
何りんげー



男性視点



女性視点



同じ腕輪でも表と裏で
2通りの見え方がある！

数珠順列ではこの2通りを同じものと考える。
どの宝石の並び方に文脈に関係なく
2通りの見え方があるから、この場合、
求めめる場合の数は円順列の場合の数を
2で割り、たものである。

よって計算式は $\frac{(5-1)!}{2} = 12$ 12種類

(2) 7人から5人の選び方で C_5 通り、

5人の円順列で $(5-1)! = 4!$ 通り

よって求めめる場合の数は $7C_5 \times 4! = 504$
504通り